

日本脳炎ワクチンの接種について

日本脳炎ワクチンについて、製造元での一時出荷停止を受け、ワクチンの出荷調整が行われています。

在庫がなくなり次第、ワクチンの供給量が安定する時期（およそ1年間）まで、一時的に接種を停止させていただきますのでご理解をお願いします。

日本脳炎ワクチンの標準的な接種は、3歳に2回に（1期1回・2回）、4歳から7歳6か月未満に1回（1期3回目）、9歳から13歳未満に1回（2期4回目）となります。

定期接種の対象年齢が年度内に過ぎてしまう方は、町立別海病院小児科外来までご相談ください。

問合せ／町民保健センター TEL75-0359

別海町子育て世代包括支援センター事業がスタートしました

「子育て世代包括支援センター事業」は、妊産婦および乳幼児の健康の保持増進と妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない包括的な支援を提供することを目的とした事業です。

妊産婦および乳幼児とその保護者を対象として、各ご家庭の状況に応じた妊娠、出産、子育てに関する各種相談支援をはじめ、必要に応じて支援プランの策定や、地域の保健医療または福祉機関との連絡調整を行います。

本町では、4月から母子健康センター、保健センターおよび福祉課が窓口となり、連携して妊娠、出産、子育てに関する情報提供と相談について、一人一人に寄り添い安心して子育てができるよう支援をします。どうぞ気軽にご相談ください。

■相談先

- 妊娠、出産、産後のこと
母子健康センター TEL 75-2262
- お子さんの成長発達、予防接種、育児のこと
保健センター TEL 75-0359
- 保育園の利用や子育て支援制度（ファミリーサポートセンター事業など）のこと
福祉課こども・子育て担当
(内線1313・1314)

町の保健室

5年に1度エキノコックス症検査を受けましょう

エキノコックス症は、エキノコックスという名前の寄生虫が主に肝臓に寄生して起こる病気で、道内では毎年20名程度の患者が見つかっています。



感染経路

エキノコックスの卵が口の中に入ってしまった場合に感染することがあります。エキノコックスが寄生したキツネやフンに直接触ったり、フンに汚染された山菜や沢水を口にすると感染の危険があります。

人から人に感染することはありません。

症状

エキノコックスに感染してもすぐに自覚症状は現れません。数年から10数年の潜伏期間を経て、肝機能障害に伴う疲れやすさ、上腹部の不快感や膨満感、黄疸(おうだん)などの症状が現れます。自覚症状が出る頃には病気が悪化している可能性があります。

感染予防

- 外から帰ったら必ず手を洗いましょう。
- キツネに餌付けをしたり触ったりしないようにしましょう。
- キツネが近寄らないよう生ごみなどはきちんと保管し処分しましょう。
- 飼い犬が野ネズミを食べないように放し飼いは絶対にやめましょう。
- 野山の果実や山菜を口にすることは、よく洗うか十分加熱してから食べましょう。
- 沢水などの生水は飲まないようにしましょう。

※町が毎年各地区等で実施している集団健康診査では、エキノコックス検査を実施しています。5年以上検査を受けていない方は、積極的に受けましょう。

問合せ／保健センター TEL 75-0359